見守り支援システム（眠りスキャン）による負担軽減について

～使用３年半経過して～

社会福祉法人志賀福祉会
特別養護老人ホーム真野しょうぶ苑
湯浅　潤一

社会福祉法人 志賀福祉会　～沿革～

1995年7月　社会福祉法人志賀福祉会　設立認可

1996年4月以降
- 特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑
- 近江舞子しょうぶ苑短期入所生活介護
- 近江舞子しょうぶ苑デイサービスセンター
- 近江舞子しょうぶ苑ホームヘルプサービス
- 近江舞子しょうぶ苑居宅介護支援センター
- 志賀町在宅介護支援センター

2004年4月
- 特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑（ユニット型）増床
- 近江舞子しょうぶ苑短期入所生活介護（ユニット型）増床
- 福祉有償総合事業ほほえみ

2018年4月
- 特別養護老人ホーム真野しょうぶ苑（ユニット型）
- 真野しょうぶ苑・空床利用型ショートステイ
- こすもすキッズ真野（企業主導型保育事業）　　開設

こんなお困りごとありませんか？？

特に夜勤帯・・・

センサーマットが多数あり、
音の選別、判断に戸惑う

ご利用者の睡眠状況がもっと
分かれば・・・

職員数少なく見守りが不安・・・

センサーマットの故障が・・・

見守り支援システム（眠りスキャン）

ベッドに設置するだけで
パソコンやタブレットに
リアルタイムに状態が映し出されます。

〜PARAMOUNT BEDホームページより抜粋〜

2018年当施設の開設時、
全室（60床）に眠りスキャンを導入した

眠りスキャンの導入目的、導入後の状況

導入目的

〇２ユニット（合計２０名）のご利用者を夜勤者１名でご支援する上でのスタッフの負担軽減のため

○ご利用者の事故防止のため

※睡眠の質を確認するため（重説）

導入後の状況

〇ケーブル切断の事故が相次ぐ

〇タブレットを各ユニットに導入

〇Windows更新に伴うシャットダウン

〇急変の早期発見→DNAR導入へ

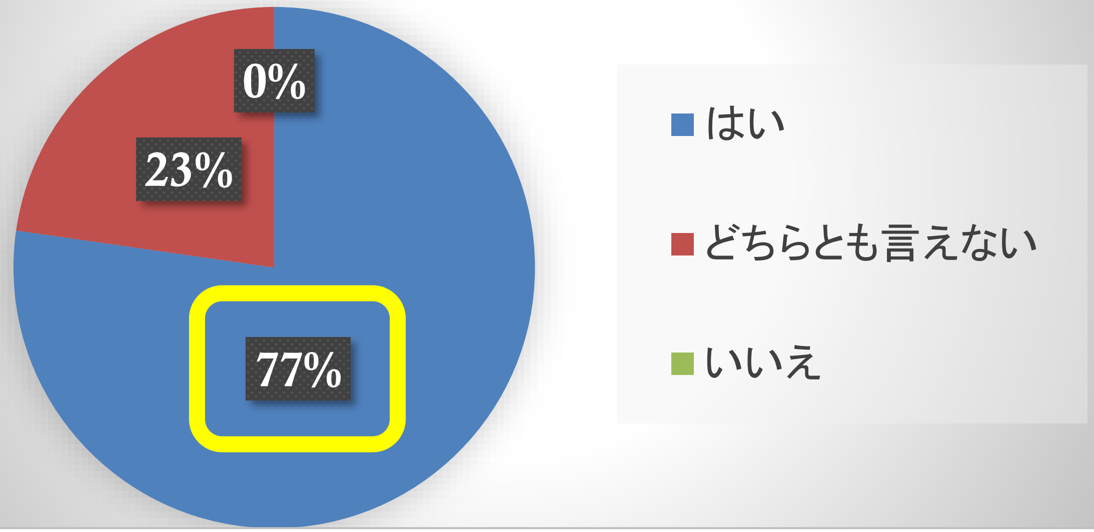
〇見守り機器を安全且つ有効に活用する委員会にて使用状況確認

〇法人全体（特養･SS）に導入

〇導入後の評価ができていない現状

ケアワーカーを対象にアンケート調査実施

Q.眠りスキャンを活用することで、あなたの負担は軽減されていますか？

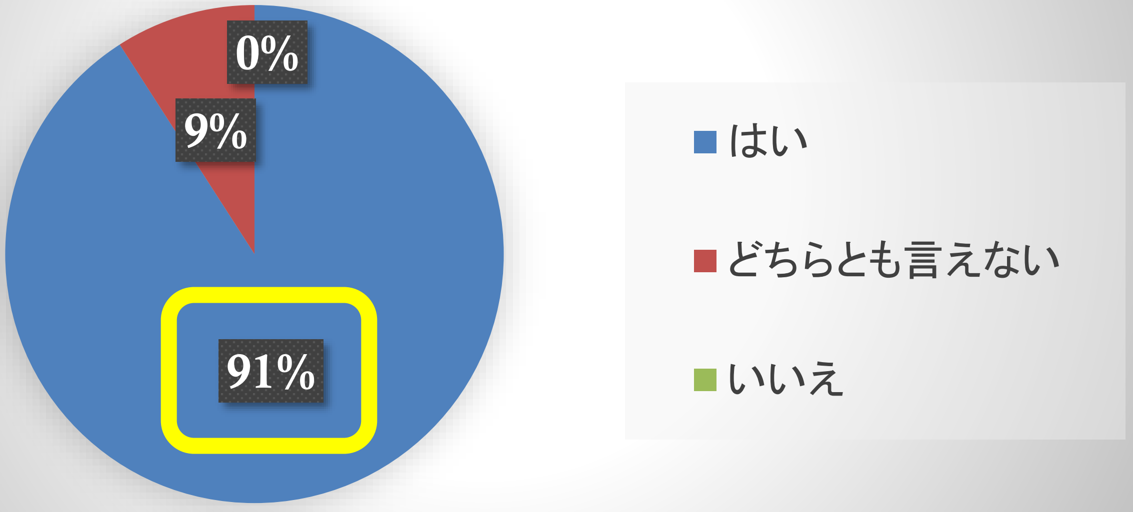


睡眠状況が分かり、また覚醒された際にリアルタイムな対応ができる

夜間帯、一人の時間が長いなか、眠りスキャンによる見守り機能は心強い

睡眠や臥床状況を確認できることは良いが、確認できることにより、様子を見に行く、負担もある

Q.眠りスキャンを活用することで、利用者の事故防止に繋がっていると感じますか？

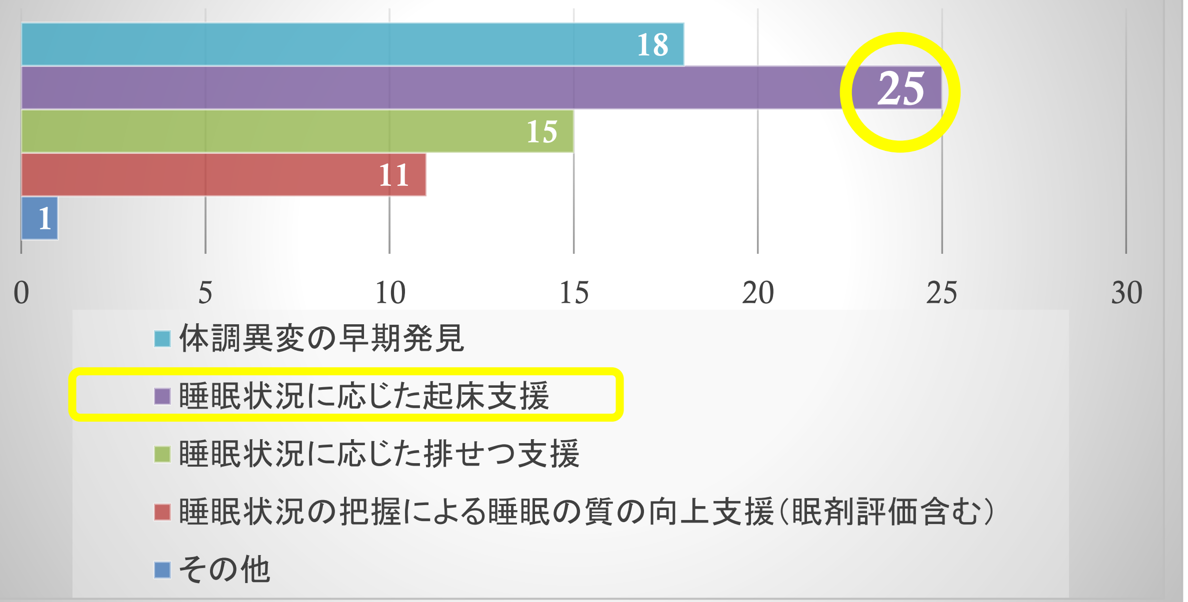


特に夜間帯で臥床されているか、離床されているかが、分かるため、早期対応でき、事故防止に繋がっている

起き上がりが分かるため、転倒リスク等の高いご利用者への支援に助かっている

感知のタイムラグや誤作動もあり、改善して欲しい

Q.事故防止以外に眠りスキャンを活用している事項はありますか？

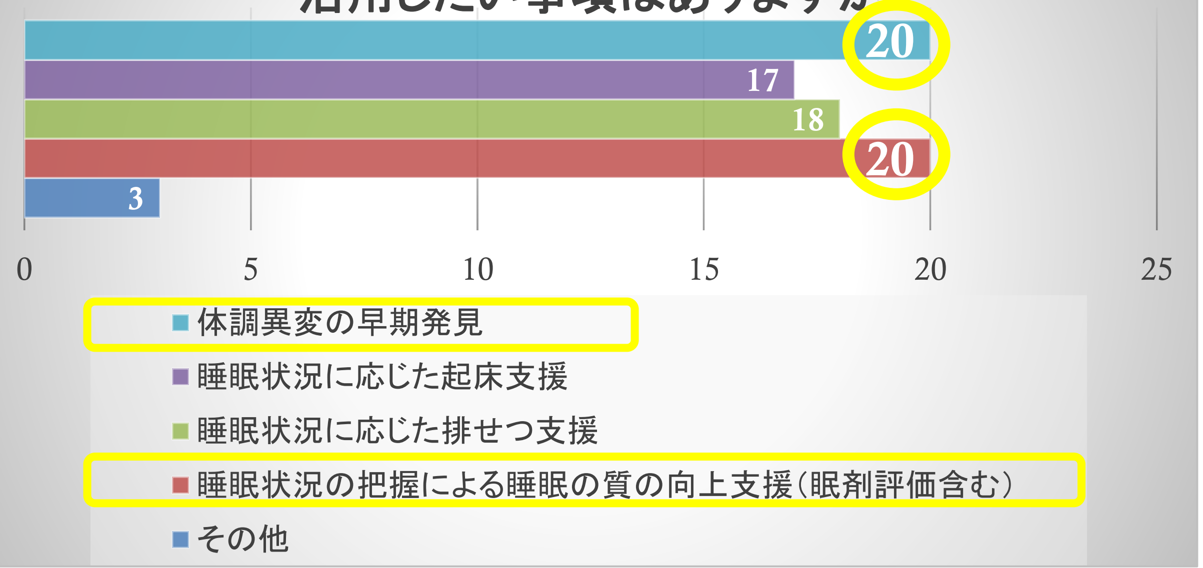


ご利用者の覚醒状況に合わせて、起床支援を行っている

夜間の睡眠状況によって日中の支援を検討している 【活用事項の■その他】

日中はスタッフが居るのであまり必要と思っていなく、活用していなかった（非正規スタッフ）

Q. 今後、更に眠りスキャンを活用したい事項はありますか？



日中の臥床等でのご利用者の行動把握をしていきたい 【活用事項■その他】

日中の臥床時間の確認により過ごし方の支援を検討していきたい 【活用事項■その他】

それぞれの定量的なデータの意味づけ、解釈ができるよう活用していきたい 【活用事項■その他】

～アンケート調査の結果から～

〇眠りスキャンの活用状況

正規スタッフ　　（夜勤あり）：１００%

非正規スタッフ（夜勤なし）：６３%

〇スタッフの負担軽減 ＜ 事故防止に繋がっていると感じている

〇事故防止以外に睡眠状況に応じた起床支援にも活用

まとめ　～考察及び今後の取り組みについて～

①眠りスキャンを導入した目的は概ね達成できていると評価する。

②眠りスキャンを活用して、ご利用者の睡眠状況に応じた
　起床支援が提供できている。（スタッフの意識が高い）

③眠りスキャンの機能は、スタッフ個々の判断にて活用している
事項が多々あり、今後、組織として（チームアプローチ）の
活用ができる仕組み作りが必要。
→特に、"睡眠状況の把握による睡眠の質の向上支援
（眠剤評価含む）"の活用をピックアップして取り組んでいきたい

まとめ　～考察及び今後の取り組みについて～

　今回の研究協議大会で発表の機会をいただき、３年半使用し続けた眠りスキャンの活用を評価し、更なる有効活用方法について検討するきっかけとなった。

　PDCAサイクルの展開により継続して眠りスキャンを有効活用し、スタッフの負担軽減と併せてご利用者支援の向上に繋げていきたい。

　眠りスキャンのデータからエビデンスに基づく支援を目指して！！

ICT（眠りスキャン）を活用し、未知なる世界へ

ご清聴ありがとうございました